

## 平成23年度第4回社会教育委員会議 会議概要

【開催日時】 平成24年3月22日(木) 午後1時30分から3時20分まで

【開催場所】 教育委員会大会議室

### 【出席者】

(出席委員)飯牟礼委員、岡本委員、近藤委員、佐野委員、篠原委員、柴田委員、中尾委員、中島委員、藤田委員、星野委員、森委員、山口委員、弓場委員、渡邊委員 (14人)

(欠席委員)浅間委員、吉原委員、(2人)

(職員)木村生涯学習課長(兼公民館長)、深山文化・スポーツ課長、市原文化・スポーツ課主幹、西沢文化・スポーツ課主幹、斎藤鳥の博物館長補佐、井上図書館長

(事務局)鷺見副参事、小川主査、湯下主事

【傍聴人】 なし

### 【会議内容】

#### 1 挨拶 渡邊委員長より

3月11日の震災から1年が経過し、社会教育事業もだいぶ落ち着いて実施できるような状態になってきましたが、我孫子市内でも布佐の都地区を通ると、まだフェンスが半分位潜っているところも数多くあり、家もまだ建て直されていないような現状があります。(私の所属している)あびこネットでは、被災地で子ども服が足りないというメールが届き、みんなで子ども服を集めました。まだ、まだ復旧は進んでないような状況です。昨年は私の工作で元気になってもらいたいとの思いで作品を届けましたが、是非ともこの夏には被災地を訪れて、被災された皆さんに元気を届けられたらと思っています。併せ復興からの知恵や逆に元気をもらえることができたとも思っています。社会教育委員関係では、あらたな役を仰せつかり、大変な年になりますが、バランスを取りながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

#### 挨拶 井上生涯学習部次長より

今年度最後の会議になりますが、震災直後の1年間で社会教育にとっても普段の年とは異なる1年間でした。人々にとっては普段何気なく暮らしている生活の有り難さや電気は有限であることを再認識する1年間でした。生涯学習部としても市民の皆さんの気持ちに沿っていきいきとした日々を過ごすための方策を委員の方々にお伺いしながら進めてきました。本日は1年間で締め括る会議になりますが、よろしくご審議をくださり、来年度もよろしくお願い致します。

## 2 報告事項

- 1) 延滞者に対する図書資料の利用の制限に関する要綱の制定について  
＜図書館長より要綱の制定理由、経過等について「資料1」をもって説明される。＞
- 2) 我孫子市生涯学習出前講座実施要綱の制定について  
＜生涯学習課長より要綱の変更について「追加資料」をもって説明される。＞

## 3 議事

### 1) 平成23年度主な社会教育事業の実施状況

＜各所管課より「資料2」をもって補足説明する。＞

柴田委員) 杉村楚人冠邸への市外からの来訪者数について教えて欲しい。

文化・スポーツ課長) 市内・市外別の来訪者数については、統計を取っていない。

渡邊委員長) 市外へのPRはどのように行っているか。

文化・スポーツ課長) 特に、企画展などを実施する場合、市内ではポスターの掲示、チラシの配布など、紙ベースを中心にPRしている。市外へはホームページの掲載が中心となる。ホームページの内容は、館内をホームページ上で順に歩けるよう部屋を紹介している。また、庭園の木々の状況についても知らせるなど、工夫をしている。

渡邊委員長) ホームページへのアクセスは何件ぐらいあるか。

文化・スポーツ課長) 現在、アクセスカウントは取っていないので、次回にはお知らせできるようにしたい。

藤田委員) 公民館運営の保育スタッフ事業には保育の専門の方はいるのか、あわせて利用状況を教えて欲しい。また、現行の毎週水曜日1回数を増やして欲しい等の要望はあるか。

生涯学習課長) アビスタのスタッフについては、保育士等の資格は必要ない。子どもの預かりについては、ボランティア精神のお母さん方に委嘱している。事業は水曜日、朝9時から12時まで、スタッフの日程調整しながら、保育をしている。現在、登録者は12人で一日、4人程度の方に来てもらっている。23年度2月末までの利用者数は165人、1ヶ月平均20人前後の利用がある。

藤田委員) 2月上旬に市民体育館で、インフルエンザが広まりつつある中で、市内小学生が参加した綱引き大会が行われた。その数日後にインフルエンザにより学級閉鎖したところがあ

った。大会を延期又は、見合わせをするべきだったのではないか。

**生涯学習部副参事）** この綱引き大会は、我孫子市青少年相談員連絡協議会と市が主催した事業である。共同主催者の子ども支援課に社会教育委員会議で只今の意見があったことを伝えたい。

**弓場委員）** 鳥の博物館の調査研究の「センサス等」は学術的な調査か。長期間の統計をとっているようなセンサスカ。

**斉藤館長補佐）** このセンサス調査は、我孫子の代表的な自然環境の中に設けた調査ルートに沿って、鳥の種類と数を毎月記録している。何年間続けることによって、自然環境の変化を鳥の変化からとらえるモニタリング調査である。

**弓場委員）** 調査結果は学術論文として発表するのか。

**斉藤館長補佐）** 「我孫子市鳥の博物館調査・研究報告」に調査結果をまとめたものを報告し、公表している。

**弓場委員）** 手賀沼の環境問題に対して、何らかの提言につながることを目的とした調査と考えて良いのか。

**斉藤館長補佐）** そのための調査である。これらの調査結果によって分かった手賀沼の環境の変化を公表し、環境について考えるための材料として役立つことも目的の一つである。

**柴田委員）** 長寿大学では、1年間を通しての研究テーマを設定しているのか。

**生涯学習課長）** 一般大学では3学年になるとゼミナールで専門的な研究などがあると思うが、長寿大学は大学という名称はついているが、いわゆる一般大学でいうところの研究テーマは設定していない。ただし、いろいろなテーマを持って学習展開している。特に、まちづくり、地域貢献を教育委員会として掲げており、例としては、小学校に出向き、戦争体験を話し、子どもたちからは作文をいただいたりし、交流を深めている。地域貢献というテーマに力を入れている。

**弓場委員）** 学校教育ではカリキュラムがあり、各学年、学科・専攻で履修する内容が決められている。24回講義する中で、全体としての展望をもったカリキュラム様のものが必要ではないか。

**生涯学習課長）** 各学年とも長寿大学でも理念的なものを捉えているが、文科省の指導要領とい

った細かなものは持っていないが、今後ともカリキュラムを見直しながらかし寿大学の運営や大学のあり方を考えていきたい。

**飯牟礼委員)** 長寿大学は4年間ということで、1,2年は教養課程、3,4年は目的別に分かれるぐらいの思いを持った編成についてはどう考えるか。

**生涯学習課長)** 長寿大学開校39年目を迎えるが、この38年間まったく(学習テーマ・内容は)同じではなく、特に3,4年のところでは工夫してきた。40周年を迎えるという区切りの中で、コースの在り方やここ2年で50人定員のところ80人程の応募があるなど、その対応も含めて検討していきたい。

## 2) 平成24年度生涯学習部予算について

<各所管課より「資料3」をもって補足説明あり。>

**星野委員)** 細目「井上邸の保存と活用」の中で、用地取得費7,300万円は、井上邸の土地、全部を取得する費用か。それとも敷地の一部か。

**文化・スポーツ課西沢主幹)** 駐車場用地を含めた取得費であり、額は取得の上限額である。

**星野委員)** 井上邸が保存している古文書は(井上邸の)蔵で保管していくのか。また、市内の古文書の原本を市側で管理していくシステムについて考えているのか、また進んでいるのか。

**文化・スポーツ課西沢主幹)** 井上氏側が自宅に残したいというものもあるかと思うので、これから協議していきたい。市内の古文書については、現在基本的に原本を複写し、対応している。担当としては、原本での寄贈を受けたいという気持はあるが、市側での保管するスペースや予算の確保などの問題があり、管理するシステムについては、大変厳しい状況である。

**中尾委員)** いろいろな社会教育関係の細目で予算が減額される中で、井上邸の整備・活用に8,800万円以上の予算額が計上されている。一方、文化施設については、柏市との共同設置で動いていたが、今は単独で文化会館を整備するような動きがあり、文化連盟の方々を始め、多くの市民が早期の建設を望んでいる。また、古文書の保管場所が欲しいということで、毎回社会教育委員会議でも意見が出され、実現には至っていない今日である。このような中で、井上邸は貴重と思うが、今後、邸の耐震の補強や屋根の葺き替えなど、将来、先々のことを考えると、今期に計上された予算額の他に多額の経費が膨れ上がることが予想される。将来の見通しで、市民に(井上邸の)利用方法が示されていないが、担当として将来展望はあるのか。多くの市民が長年訴えてきた優先度が高いものから予算化して欲しい。これまでのいきさつも含め、今回の井上邸の整備については唐突感が否めない。さらに、湖北地区図書館建設事業については、予算額がゼロであるが、計画が断ち切れてしまうのではないか。これまで、計画策定

に携わった委員の貴重な意見や労力は徒労に終わってしまうのではないかと。

**文化・スポーツ課長）** まだ、まだ、井上邸の前に使うべき予算があるのではないかという意見だと思うが、市の予算の順位付け、選択は市全体の中で市長をはじめとして検討し、予算配分をしている。施政全体としては、文化財や放射線に関する安全・安心関係の予算、また福祉の分野に関する予算等が配分されており、バランスのとれた予算になるだろうと思う。所管する歴史文化財に関しては、白樺文学館や杉村楚人冠邸などと同様に井上邸についても貴重な文化財として保護していきたいということで予算計上している。現在、議会の予算委員会で審議しているところである。井上邸の経緯では、22年5月に登録文化財の建物を市に寄付したい、ただし、土地については購入して欲しいという申し出があり、2年間掛けて担当と井上氏とで協議をし、今年度はじめて予算化したものである。

**図書館長）** 湖北図書館建設に関する予算はゼロと書かれているが、事業は採択されており、引き続き検討することになっている。平成20年度に湖北地区図書館基本計画が策定され、その報告書のまとめでは、「今後は他の公共施設との兼ね合いを考えながら複合という視点で検討していく必要がある。」と記述している。現在は、行政サービスセンター、消防署なども手狭で古くなっているところから、これらの施設の対応も含め、市長部局の企画課が中心となって検討しているところである。

**渡邊委員長）** 細目、湖北高校野球場整備事業の21万円はどのような予算内容か。

**文化・スポーツ課市原主幹）** 旧湖北高校が布佐高校と統合し、我孫子東高校が誕生したが、旧湖北高校野球場については、当面、新校で使わないということで、県と市と協議をした結果、我孫子市側で利用できるようになった。今年23年度9月補正予算で基礎的整備を終えたが、野球場の利用は、スポーツ少年団及び中学生の硬式野球シニアチームが構成団体となった協議会を組織してもらい、協議会に貸出をしている。平成24年度の予算は、施設内の井戸が飲料水として適正か否かの水質検査、維持費等の経費である。

**弓場委員）** 平成24年度予算案が今回提示されたが、この予算案は明日議会で採決されることから、既に変更できないものと理解する。(社会教育委員は)この予算一覧の内容を報告という形で聞けば良いのか、審議事項として意見を述べる立場なのか。社会教育委員の意見が予算作成に反映されうるといふことであれば、もう少し早い段階で示して欲しい。

**生涯学習部副参事）** 前回の会議(12月20日)でも、平成24年度生涯学習部の運営方針と予算要望事業を示したが、予算要求後の会議であったため、ホームページに掲載しているパブリックコメントを通じて意見をお願いしたい旨の話をさせてもらった。今後は予算編成のタイミングに社会教育委員会会議を開催したい。

**弓場委員)** パブリックコメントでは、この資料3が掲載されているのか。また、井上邸の8,800万円という数字は示されていたか。

**生涯学習部副参事)** 市の施策に関わる新規事業が全部掲載されており、この資料が掲載されているわけではない。内容的には重複しているものもある。パブリックコメントに井上邸についても掲載されている。

**佐野委員)** 我孫子には企業があるわけではなく、(市の財政は)人が払っている住民税がほとんどである。その中で、市は人・鳥・文化のハーモニー、手賀沼のほとり、心輝くまちを掲げており、杉村楚人冠、井上邸の文化財的な取得、補修の経費を市の予算、40分の1程度計上している。市としても財政状況が厳しい中での予算だと思う。違った見方をすれば、生活に密着したクリーンセンターの炉の建て替えなど市民会館の再建についても必要だと思う。厳しい状況下での選択だと思う。

### 3) 部会の設置について

**渡邊委員長)** 部会の設置については、前回の会議で3人の委員から提案があった。内容が近いもの、近々でないものを副委員長、事務局と委員長である私で整理させてもらった。ここであらためて提案したい。今回は、内容が近い「体育行政に関して」とサークルの「公民館等の利用について」を一緒にした部会の設置を提案したい。超高齢化社会へのバックアップ施策については、検討内容が幅広く、社会教育関係に留まらないこともあり、今回は見合わせていただきたい。また、子ども行政についても少し時間を掛け検討する必要があると思われることから、見合わせたい。

**生涯学習部副参事)** 提案された「超高齢化社会における元気シニアや主婦の能力の社会化について」は、市では健康福祉総合計画を策定し、対応方針を定めている。提案の内容については担当課である高齢者支援課において、既に高齢者福祉推進市民研究会議が立ち上げて同内容について調査・研究しているところである。担当課には社会教育委員会議で提案があったことを報告したい。

**星野委員)** かなり大きなテーマであり、これからのテーマになると思う。先程の長寿大学のカルキュラムの内容にも絡んでくると思うが、前向きに考えてもらえれば、結構である。

**渡邊委員長)** (星野委員の提案については、)社会教育委員会議、教育委員会だけで話が進めば、部会を立ち上げて良いと思うが、他の部署も巻き込んでとなると大変難しい状態になり、部会もスムーズにいかなくなるだろうと考える。他の部署と連携が組めるようであれば良いと思うが、今の時点では、提案を見合わせていただくということをお願いしたいがよろしいか。

〈 異議のない旨を示す声あり 〉

**渡邊委員長）** 提案の設置名称は思い浮かばないが、とりあえず名称は社会教育施設部会とし、部会で意見を出し合って決めて欲しい。はじめに（部会では）他市の状況等の勉強会を行ってもらい、最終的に検討結果が、提言という形になるか、市民への普及活動となるかは、部会に任せたい。

**渡邊委員長）** 部会メンバーの原案は私に任されているので、ここで指名したい。部会メンバーは提案者である中嶋さんと私、飯牟礼さん、近藤さん、篠原さんをお願いしたい。

以 上